

1. 調査報告概要表

作成日 平成20年12月25日

【評価実施概要】

| | |
|-------|---------------------------------------|
| 事業所番号 | 1072800483 |
| 法人名 | 有限会社 アズマ |
| 事業所名 | グループホーム 花水希 |
| 所在地 | 群馬県伊勢崎市八寸町4830-5 (電話) 0270-20-8088 |

| | |
|-------|------------------|
| 評価機関名 | サービス評価センターはあとらんど |
| 所在地 | 群馬県前橋市大友町2-29-5 |
| 訪問調査日 | 平成20年12月16日 |

【情報提供票より】(20年10月7日事業所記入)

(1) 組織概要

| | |
|-------|-----------------------------|
| 開設年月日 | 昭和・平成 16年 9月 1日 |
| ユニット数 | 1 ユニット 利用定員数計 9 人 |
| 職員数 | 8 人 常勤 8 人, 非常勤 人, 常勤換算 6.2 |

(2) 建物概要

| | |
|------|----------------------------------|
| 建物構造 | 木造平屋建(耐火建築) 造り 1階建ての 階 ~ 1階部分 |
|------|----------------------------------|

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|---------------------|------------------|----------------|-----|---|
| 家賃(平均月額) | 月額1,500 円 | その他の経費(月額) | 円 | |
| 敷金 | 有(円) 〇無 | | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有(円) 〇無 | 有りの場合 償却の有無 | 有/無 | |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 | 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ | 円 |
| | または1日当たり 1,000 円 | | | |

(4) 利用者の概要 (10月7日現在)

| | | | | | |
|-------|--------|------|-----|----|-----|
| 利用者人数 | 9名 | 男性 | 2名 | 女性 | 7名 |
| 要介護1 | 0名 | 要介護2 | 2名 | | |
| 要介護3 | 6名 | 要介護4 | 1名 | | |
| 要介護5 | 0名 | 要支援2 | 0名 | | |
| 年齢 | 平均 82歳 | 最低 | 74歳 | 最高 | 91歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|---------------------|
| 協力医療機関名 | 小暮内科クリニック 矢島歯科クリニック |
|---------|---------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

管理者と全職員は日常生活活動を通じて、身体機能維持、向上を自然に取り組んでいる。管理者は「施設になりすぎず、家庭的な雰囲気を保つようにしている」と、居室やホールの掃除から食事づくり等生活全般を一人ひとりのできることを職員と一緒にいき、気負いもなく自然に一人ひとりの力量発揮してもらいながら協働して生活を共にしている。玄関先で過ごしていると地域の方が自然に立ち寄り、利用者と話しをして行く光景を目にしたが、地域に溶け込み地域の一員として交流がされているように見受けられた。今後も地域との交流がより深まることを期待したい。

【重点項目への取り組み状況】

| | |
|-------|--|
| 重点項目① | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) |
| | ①現状に即した介護計画の見直しについては、毎日モニタリングを行い、月1回まとめをし介護計画に反映させている。②重度化や終末期に向けた方針の共有については、勉強会を持ち状態観察ポイントや連絡、報告の流れ等を文章化し関係者で共有しているが、事業所としての方針までは文章化されていない。 |
| 重点項目② | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) |
| | 管理者と全職員で自己評価に取り組んでいる。 |
| 重点項目③ | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) |
| | 定期的開催をしており、事業所から利用者、活動状況等の報告を行っている。参加者からは地域情報や子供みこしのコースに入れてもらう等の協力が得られている。 |
| 重点項目④ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) |
| | 家族等の来訪時には話しやすい雰囲気づくりに留意している。運営推進会議に参加した家族からは意見や要望を聴くようにしている。苦情や意見は運営に反映させている。 |
| 重点項目④ | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) |
| | 散歩時に挨拶や話しをする、玄関先で過ごしていると地域の方が立ち寄り、地域の方と季節の花見や餅つきに招かれたり、ボランティアの慰問がある時は呼びかける等の相互の交流が行なわれている。 |

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|----|---|--|------|-----------------------------------|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 地域密着型サービスとして端的に示した「地域の中で、その人がその人らしく尊厳を持って、安楽に暮らせるように努めます。」と事業所独自の理念を掲げている。 | | |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 管理者と職員は理念を共有し、カンファレンスなどで話し合い、理念の実践に向けて取り組んでいる。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 散歩時に挨拶や話しをする、手芸品、野菜を頂く、地域の餅つきに参加、花見や季節の行事に地域の方と一緒に楽しむ、ボランティアの慰問がある時には地域に呼びかける等交流を図っている。玄関先で過ごしていると地域の方が立ち寄り話しをして行く等の和やかな時間を過ごしている。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | サービス評価の意義や目的を全職員に伝え、管理者と職員で自己評価に取り組んでいる。 | | |
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 定期的開催をしており、利用者関連事項、活動状況等の報告をし参加者から質問や意見、情報等を聴いている。家族から市担当者に質問や参加者から地域情報やボランティア(八木節、フラダンス等)情報を頂いた。また、子供みこしが立ち寄るコースに事業所を入れてくれる等の協力が得られている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|----|---|--|------|-----------------------------------|
| 6 | 9 | <p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p> | <p>運営推進会議録や介護保険更新手続き等で窓口を訪問し、情報交換を行い連携を図っている。</p> | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | <p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p> | <p>モニタリングの結果をふまえて、月1回支払いのために家族等が来訪する時に1ヶ月間の生活状況を文章化し、説明を付け加えて報告をしている。</p> | | |
| 8 | 15 | <p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>来訪時には話しやすい雰囲気作りに留意している。運営推進会議には、家族等に参加してもらい意見等を聴くように努めている。</p> | | |
| 9 | 18 | <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>入職時は先輩職員と一緒にケアにあたり、利用者との馴染みの関係が早期に築けるように配慮し、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p> | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>介護実践者研修、福祉施設等の新任研修等に参加している。研修内容は報告をし共有を図っている。</p> | | |
| 11 | 20 | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>地域密着型サービス連絡協議会に加入し、レベルアップ研修会等に参加をし情報交換を行っている。他ホームと運営推進会議に相互訪問し運営推進会議の取り組み状況を知る機会が予定されている。</p> | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|--|---|------|-----------------------------------|
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 入居時には馴染みの物をできるだけ持ち込んで(寝具、家具、茶碗等の生活用品)安心できる居室環境づくりに配慮している。入居理由等を家族と職員は統一した言葉で対応にあたり、生活に徐々に馴染めるよう工夫をしている。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 利用者は人生の先輩であると言うことを職員が共有しており、日常生活場面で昔の話や野菜の切り方、すいとん、手打ちうどんづくり等教わることも多い。共に過ごし支えあう関係が築かれている。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 日々のかかわりの中や本人との会話等の中から思いや希望を汲み取るようにしており、家族等からも意見等を聴くようにしている。その情報を職員間で共有しながら日々のケアに活かしている。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 本人・家族には日頃のかかわりの中で思いや意見を聴き、介護計画に反映させるようにしている。毎日モニタリングを行い、カンファレンス等で職員は話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映させた利用者本位の介護計画を作成している。 | | |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 毎日モニタリングを行い、月1回まとめをし、本人・家族に説明を行い確認しながら見直しを行っている。定期的見直しと随時、状態の変化に応じて見直しが行われている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|---|---|------|---|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 本人や家族等の希望や状況に応じて、通院介助、買い物等必要な支援は柔軟に対応している。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 入居時、本人・家族等の意向を確認し、希望するかかりつけ医で適切な医療が受けられるよう支援している。受診や通院は本人や家族等の希望に応じて対応している。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 状態に応じて、家族とかかりつけ医、事業所等で話し合い共有して支援をしている。管理者と職員は勉強会を行い、状態の変化に応じ、観察のポイント、連絡、報告の流れ等を作成し文章化してある。重度化や終末期に向けた事業所としての方針は文章化されていない。 | ○ | 重度化や終末期に向けた事業所としての方針を定め、それを文章化し、本人や家族等、かかりつけ医、ケア関係者等で共有するよう期待したい。 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 個人の尊厳を大切に、言葉掛けや対応に配慮しながらさり気なく支援をしている。記録等の個人情報の取り扱いに関しては留意している。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 一人ひとりの状態やその時々気持ちを大切にしながら、希望やペースに沿って支援をしている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|----|---|--|------|-----------------------------------|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 野菜の皮むきや切る、テーブル拭き、箸を並べる、ポットをテーブルに運ぶ、盛り付け、配下膳等職員と一緒にやっている。利用者と職員は同じテーブルを囲み和やかに食事をしている。 | | |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴が楽しめるように支援をしている。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 居室やホール、玄関の掃除、野菜の皮むき、切る、テーブル拭き、配下膳、洗濯物たたみ、買い物、散歩、ドライブ、ボランティアや地域の方等で役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 近隣への散歩、買い物、季節に応じた花見等支援をしている。玄関先でお茶をしたり、体操をして過ごしている。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 日中は玄関には鍵をかけずに自由な暮らしを支援している。 | | |
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 年2回利用者と一緒に避難訓練を実施している。近隣者に協力依頼もしており、連絡網が作成されている。避難訓練後には反省会を開いている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|----|---|---|------|-----------------------------------|
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事や水分の摂取状況を毎日チェック表に記録し、職員は共有している。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 敷地内や中庭に花壇があり、季節の花が咲き楽しまれている。玄関先にはベンチが設置され、犬が飼われている。ホール内にはソファやテーブル等置かれており、居心地よく過ごせる環境になっている。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | テレビ、籐の椅子、ぬいぐるみ、寝具、衣装箱や衣装掛け、テーブル等が持ち込まれており、本人が安心して過ごせる場所となっているように見受けられた。 | | |